

令和5年度第2回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 令和5年9月27日（水） 午後1時30分から午後3時20分まで

場 所 日進市役所南庁舎2階 第5会議室

出席者 松本幸正（会長）、吉井竜良（委員）、小林裕之（委員）、大野淳（委員）、若杉将成（委員）（代理：小林弘昭）、花村元気（委員）（代理：山本英和）、池村尚哉（委員）（代理：恒吉隆郎）、宮川高彰（委員）、石屋義道（委員）（代理：吉野敬太）、吉金典晃（委員）、吉田浩美（委員）（代理：祖父江成晃）、大久保陽一郎（委員）、神野建三（委員）、鈴木直宏（委員）、菅美佐子（委員）、木俣恵子（委員）、寺田裕美（委員）、水野隆史（委員）

欠席者 伊東美佐紀（委員）、多田直紀（委員）、染川和也（委員）

事務局 生活安全部 杉田部長
 防災交通課 鬼頭課長
 防災交通課移動政策室 三好室長、井筒室長補佐、水谷主査、石田主事

オブザーバー 都市整備部 土木管理課 岡部課長
 健康福祉部 地域福祉課 野村課長補佐

傍聴の可否 可

傍聴の有無 あり（6名）

発言者	内 容（ 要 旨 ）
事務局	<p>それではただいまより、令和5年度第2回地域公共交通会議を開催します。</p> <p>21人中18人の出席を頂いており、会議の成立を報告いたします。</p> <p>この会議では議事録作成のため、ICレコーダーでの録音を承諾いただき、ご発言の際にはマイクを使用いただきますようお願いいたします。</p> <p>会議は原則公開としていますが、会長が公開の可否について委員に諮ることとなっています。</p> <p>本日の会議は感染症対策のため、Web上で傍聴するものとします。</p>
会長	<p>今回の議題は、特に非公開とするような内容は含まれておりませんので公開とさせていただきます。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>では、本会議を公開とさせていただきます。</p>
事務局	<p>それでは、議事に入ります。議事進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条で会長が議長を行う旨、規定されておりますので、松本会長よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それではここから私の方で議事進行を務めさせていただきます。皆様ご協力よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、議題（1）くるりんばす路線改正に伴う料金体系の見直しについてということですが事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題（1）について説明</p>
会長	<p>今後の対応というところで、75歳以上の無料化については、現在手法検討中のためということですが、先ほど事務局からありましたとおり、運輸局への届出といたします。</p>

	<p>ては、運賃制度は変更しない対応とする、ということです。</p> <p>ただ、実質的には 75 歳以上の方は無料で乗れるようなそんな仕組みとしようということであり、くるりんばすの運営として収入は入ってきますが、実際の高齢者の方は支払わずに済むような形を今検討しているということです。</p> <p>名鉄バス様いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>運賃面については、日進市様と十分に話し合いを進めて、市民の皆様が何を望んでいるかということだと思います。行政によって考え方は違い、社内でも様々な議論がありますが、事業主体は日進市様にありますので、一旦この方法で進めさせていただければと思います。</p> <p>しかしながら、個人情報の取り扱いについては難しい点であります。一旦お預かりし、それについて還元するような形というのは今、実際に名古屋市で行っています。しかし、全ての部分について乗車されたカードのデータを基にそれを取り込むのは弊社の方の機械でやりますが、そのデータ自体は行政様の方にお返しします。行政様の方でそこから洗い出し作業をされています。ただ、運賃箱とよく言われているあの機械自体の中身が大幅に今度リニューアルします。</p> <p>弊社のバス全体で変わるのは約 2 年であり、その機種に対応した際にはもう少し煩雑にならないやり方があると思います。</p> <p>弊社のバスでは後ろ乗りで降車時に料金をいただきますので、そのお金を戻すという煩雑なことが発生しますと、やはり個人情報の取り扱いの部分が一番大きな部分になると思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>できるだけ事務負担、事業者の負担、ドライバーの負担を減らしながら、75 歳以上の方々はまだ実質無料になるような仕組みを作っていくといけない。今すぐというわけにいかないの、引き続き検討していくということでご理解いただきたい。</p> <p>他にご質問ご意見などありますでしょうか。</p>
委 員	<p>高齢者の立場からいろいろ提案とか要望はありますが、冒頭に話がありました 75 歳以上の無料化について、現在検討されていることを初めて聞きましたが、これについては日進市のくるりんばすの料金体系や収入経費などの関係を配慮した議論でよろしいですか。</p>
事 務 局	<p>その通りです。</p>
会 長	<p>運賃体系を変えてしまう、すなわち 75 歳以上は無料という運賃に皆様の合意のもとで進めるというやり方があると思います。</p> <p>そうするとくるりんばすの運賃収入は減り、収支率も下がります。それにより税金の補助額は増えていくということですので、それは避けたい。このような思惑があるというふうにご理解いただきたい。</p> <p>それが故に少し難しい仕組みを入れないといけないということです。しかしながら、くるりんばすばかりに税金を投じていいのかという問題を一般市民の方々も含めてご理解いただけるかどうかということです。</p> <p>元々この料金体系の変更というのは、地域公共交通計画でそういう方針を立てました。</p>

	<p>特に障害者の方、子供たちの割引をより使いやすいような仕組みを導入しましょうという方針がありましたので、高齢者と学生の定期を引き下げることになります。</p> <p>それから障害者に関しては、包摂性ということで誰もが使いやすいということで、それは市民に限らないだろうということで、市外にお住まいの方についても無料対象にするということです。</p> <p>この両者については収支率とか、料金収入ということに関しましては、大きな影響はないだろうと思います。</p> <p>特に市外の障害者の方に無料にしたときに大きな収入減には繋がらないだろう。それから高校生、高齢者の方々の定期の減額に関しましても後ほど議論いただきますが利便増進計画によってより多くの利用を見込みますので、その減額分は賄うことができるでしょう。</p> <p>したがって収支に関しては悪化するような方針にはなっていないとご理解いただきたいです。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですね。</p> <p>これは住民の方々を中心とした専門部会でずっとご議論いただいた内容でございます。特にご異論ないということなので、会議としてはこの内容で承認して進めていただきながら、75歳以上の実質無料化については引き続き検討してもらい、4月に間に合うのかわかりませんが、あとは市の裏付けということで予算の成立を待って、正式に皆様で決定いただくということで進めたいと思いますので、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では料金体系の見直しに関しては承認ということで、75歳以上の実質無償化は今回の検討の内容も含め、さらに事務局の方で進めていただければと思います。</p> <p>それでは次に進みたいと思います。</p> <p>議題（2）くるりんばす路線改正の周知方法について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	議題（2）について説明
会長	ご質問ご意見などありますでしょうか。
委員	路線名については仮ということでよろしいでしょうか。
事務局	今回につきましては、路線の再編ではなく、既存の路線の見直しいわゆる路線改正という定義をしているので、現状のままを考えています。
委員	ガイドブックを作成する上でぜひ高齢者にもわかりやすいように配慮いただきたい。
事務局	現在の時刻表にもあるが、マイ時刻表というものをつけて、頻繁に行く場所のルートについて記載できるような工夫をします。また、利用の仕方などを周知するような説明会・相談会の開催など、利用しやすい環境づくりを考えています。
会長	バスの使い方を説明することを具体的にやる必要があると思います。地域の方々の様々な組織と連携しながら、説明や相談の場を設けて、そこに市の職員の方が行く、あるいは協力者を募って行っていただくような取り組みが必要であると思います。

	<p>私からは路線図は複雑になるため、わかりやすくするために背景色を変えるなど工夫は必要であると感じました。</p> <p>そして、総合交通ガイドということで、タクシーの案内も必要ではないかと思います。待機場所、予約の仕方も載せて、総合的なガイドにしてほしいです。</p>
委 員	他市町のバスの情報をもう少しわかりやすく記載してほしいです。
会 長	近隣自治体、市内の拠点となる施設の行き方、乗り継ぎ拠点の情報などがあると良いと思います。
委 員	公共交通ガイドの大きさはどれくらいを予定していますか。これまでのマップも継続して配布すると思いますが、持ち運びができるように考えていただきたい。
事 務 局	<p>今回の総合交通ガイドは、自宅に1冊置いておき、お出かけ前に計画を立てるために使ってもらおう想定です。これ以外にも、現在も作成・配布している携帯用の路線図や路線別のポケット時刻表も引き続き作成する予定です。</p> <p>普段行かない場所などをこのような網羅的、一覽的に見ることで新しい発見、気づきを得ることが、公共交通の利用促進に繋がるものと考えております。</p>
委 員	路線ごとに色を変えているが、右回り左周りも色を変えたほうがより見やすくなるのではないかと思います。
会 長	<p>やはり実際に使ってみて何がいいかを考え、様々な視点で工夫してください。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>とにかくわかりやすい情報提供というのが肝だと思います。4月1日以降の見直しの実施において、重要なポイントだと思いますので、引き続きお気づきの点がありましたら事務局の方までお伝えください。</p> <p>それでは、議題（3）地域公共交通利便増進実施計画の策定状況について事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	議題（3）について説明
会 長	路線やダイヤにつきましては、今一度確認いただければいいと思います。ただ、これらの取り組み内容について、もう少しご説明をお願いします。
事 務 局	<p>関連事業ということで、利便増進事業に位置づけられないが、取り組みとして関連するものについては掲載することとなっております。この中で利便増進事業として位置づけが可能な形に固まったものについては計画変更により利便増進事業として位置づけることも可能であると聞いております。</p> <p>これは日進市地域公共交通計画の中で各事業として記載したものを基本的にはこちらで掲載していますが、一番上の項目についてはバスの待合環境や乗り継ぎ環境の整備を進めたいというような内容になっております。</p> <p>2番目は、イベントの開催によって、交通拠点の賑わいを創出し、外出の機会を促して公共の利用を促進していくものです。</p> <p>3番目は、サービスを向上させるために現在行っているバス車内の音声案内やシルバ一人材センターの方に案内をしていただくようなところの機能拡充です。</p> <p>利用できる情報案内の提供という部分については総合交通ガイドも含まれています。今回特に、利便増進実施計画という観点から、多様な移動に対応する一方、複雑化し</p>

	た事で利便性が下がる部分もあります。これを補完する意味でも、情報提供や案内の発信をしっかりとしていくということが必要であるという記載があります。
会 長	利便増進事業としてこのような取り組みを位置づけることができなくて、これらに関して直接的に補助が得られるというわけではないわけです。
事 務 局	ひとつひとつの事業の内容がしっかりと固まって位置づけが可能ということになったときには計画変更して記載するという形になります。
委 員	事務局の方からも説明がありましたけども大枠については、この協議会で協議していただきたいですが、その認定を進めるにあたり、文言訂正などについては事務局と相談して進めさせていただきたいと思います。
会 長	国に補助してもらうために必要な計画の策定となります。国の要綱等々に合わせて、ない部分があれば修正等があるということですが、中身本体に大きく関わることはないので事務局におまかせします。よろしいですか。
委 員	異議なし。
会 長	では、内容的な変更はないという前提のもと、その中の修正は事務局におまかせするというので、この実施計画に関しましてはこの形で承認とし、進めていただきます。それでは報告事項に移りたいと思います。 令和5年度の運行状況についてということで事務局よりお願いします。
事 務 局	報告事項（1）について説明
会 長	何かご質問ご意見等がありますか。 特にないようですので、続いて（2）地域公共交通計画実施事業の進捗状況について説明をお願いします。
事 務 局	報告事項（2）について説明
会 長	何かご質問ご意見等がありますか。
委 員	高齢者少量輸送実証実験について、現在エリアを限定されているので、より遠くのところまで行けるようにして欲しい。距離をのばすにあたってかかった費用に応じて、もう少し利用者の負担を増やすなどしてはどうか。 さらには市内に限定せずに他市町まで行けると便利になるため、検討してほしい。
事 務 局	本実証実験の内容自体が今までバス停まで行けた方がバス停まで行くことができない、いわゆるラストワンマイルといわれる部分を担保するというを目的に始めています。公共交通計画にもくるりんばすだけではなくて、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、自動運転バスなどを含めて調和を図りながらやっていくことを考えています。長距離の移動を全てタクシーで解決することについては現状としては考えておらず、乗降場所一覧としてバス停等も全て入れているため、乗り継ぎなどをして移動をしていくことを想定しています。
委 員	利用者の実態としてはそのような利用方法は難しいと思います。他の交通のシステムや財政などを考慮してのことだと思うが、生活上の必要な利用者の利便性を考えて、検討してください。
会 長	市も高齢者の方々のニーズがあるのは十分理解していますが、本実証実験に関しては、ラストワンマイルを提供するという理解で皆様に利用いただきたいです。 そして直接、早く行きたいといった場合は、通常のタクシーの利用というのが前提で

	<p>あると思いますので、この役割分担を認識しながら進めていくことが必要です。</p> <p>ただし、利用者側からするとどこでも、安く行きたいというのはわかっていますが、税金を投じてのサービスということで、バランスを持ちながらやっていく必要があると思います。</p> <p>他にご意見ご質問等がありますか。</p>
委 員	<p>資料に「住宅地エリアでの実証運行を実施(社会受容性の確保)」と記載があり、1台新しく導入されると伺いました。それについては、これまでの交通量の多いところではなく、住宅地の中を走らせる実証実験をするということだと思うが、そこで社会受容性の担保、確保するというのは市民に走行している姿とかを見てもらい、受容性を高めていただくという意味ですか。住宅地エリアで実証運行するということと、社会受容性の確保という言葉の関係を教えてください。</p>
事 務 局	<p>自動運転バスを運行させたいが、歩行者、自転車、または住宅地内なので路上駐車ということもありえます。こういった場合にどこで折り合いをつけるかという事が必要であると考えております。新しいものを取り入れていく中で様々な課題が出てきて、そういったことをクリアしていくこともまた実験の一部と捉えています。技術的にできることであっても、市民の生活とすり合わせができなければ、結局人が使うものであるため、使えません。そのすり合わせというものがここでいう社会受容性であると認識しています。</p>
会 長	<p>他にご意見ご質問等がありますか。よろしいですか。</p> <p>日進市はいろんな仕組みを進めているというのが何よりも我々としてありがたいところだと思っています。</p> <p>それから先ほどの話題で、バスに乗れない、ラストワンマイルを歩けない方につきましては、福祉的な交通としてより充実していかないといけないです。</p> <p>ただし、福祉的な交通を全て公共交通で担おうとすると、大きな支出となり、市民の税負担ということになっていきますので、役割分担をしっかりとしないといけないことだと思います。そこを認識しながら公共交通として何が提供できてどこまで提供すべきかをいつも認識して考えていく必要があると思います。</p>
事 務 局	<p>本日の会議はこれもちまして終了となります。次回の会議につきましては12月27日に開催する予定でございます。</p> <p>それではこれで本日の会議を終了します。交通安全にお気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。</p>
	午後3時20分 閉会